

# 「年限・カリキュラム案作成取りまとめ」

「地域中小企業と連携によるIT担当者育成・採用促進モデル開発と普及促進事業」

はじめに

本「年限・カリキュラム案作成」に先立ち行った「大学・専門学校文献調査」から導き出された大学・専門学校が現在行っている「IT人材の育成」に関するDPの共通点は以下に示す内容であった。

### 情報系・IT系のディプロマポリシー共通点まとめ

項目	共通の特徴
1. 学習構成	「基礎 → 応用 → 実践」の段階的カリキュラム
2. 実践的な学び	PBL（プロジェクト型学習）、フィールドワーク、インターンシップ
3. データサイエンス・AI	AI・機械学習・データ分析の強化
4. IT×経営・ビジネス	IT戦略・マーケティング・デジタル経営の融合
5. システム開発・ネットワーク	プログラミング、システム設計、ネットワーク技術
6. グローバル化	英語教育・国際連携・海外研修プログラム

### マーケティング分野のディプロマポリシー共通点まとめ

項目	共通の特徴
1. 段階的な学習構成	基礎 → 応用 → 実践の体系的なカリキュラム
2. データ活用	AI・データサイエンス・統計を基盤にしたマーケティング
3. 実践的な学び	PBL、企業連携、インターンシップ、マーケティングコンペ
4. デジタルマーケティング	SEO、広告テクノロジー、EC戦略を重視
5. グローバル化	海外市場向けマーケティング戦略の習得

### ビジネス分野のディプロマポリシー共通点まとめ

項目	共通の特徴
1. 基礎知識の体系化	経営・経済・商学・マーケティング・財務の基礎学習
2. 実践的な学び	PBL、企業連携、インターンシップ、ビジネスコンペ
3. データ活用・ITビジネス	データ分析・AI・デジタルマーケティングを強化
4. グローバル化	多国籍企業・国際ビジネス・英語教育
5. 起業・イノベーション	スタートアップ支援・アントレプレナーシップ教育

これらの結果を踏まえて、本カリキュラムにおいて強化すべき点は

アントレプレナーシップ(起業家精神)の涵養をベースにおいた地域企業との連携によって実現する「IT×経営・ビジネスとの融合」実現のための実践的教育であると考える。

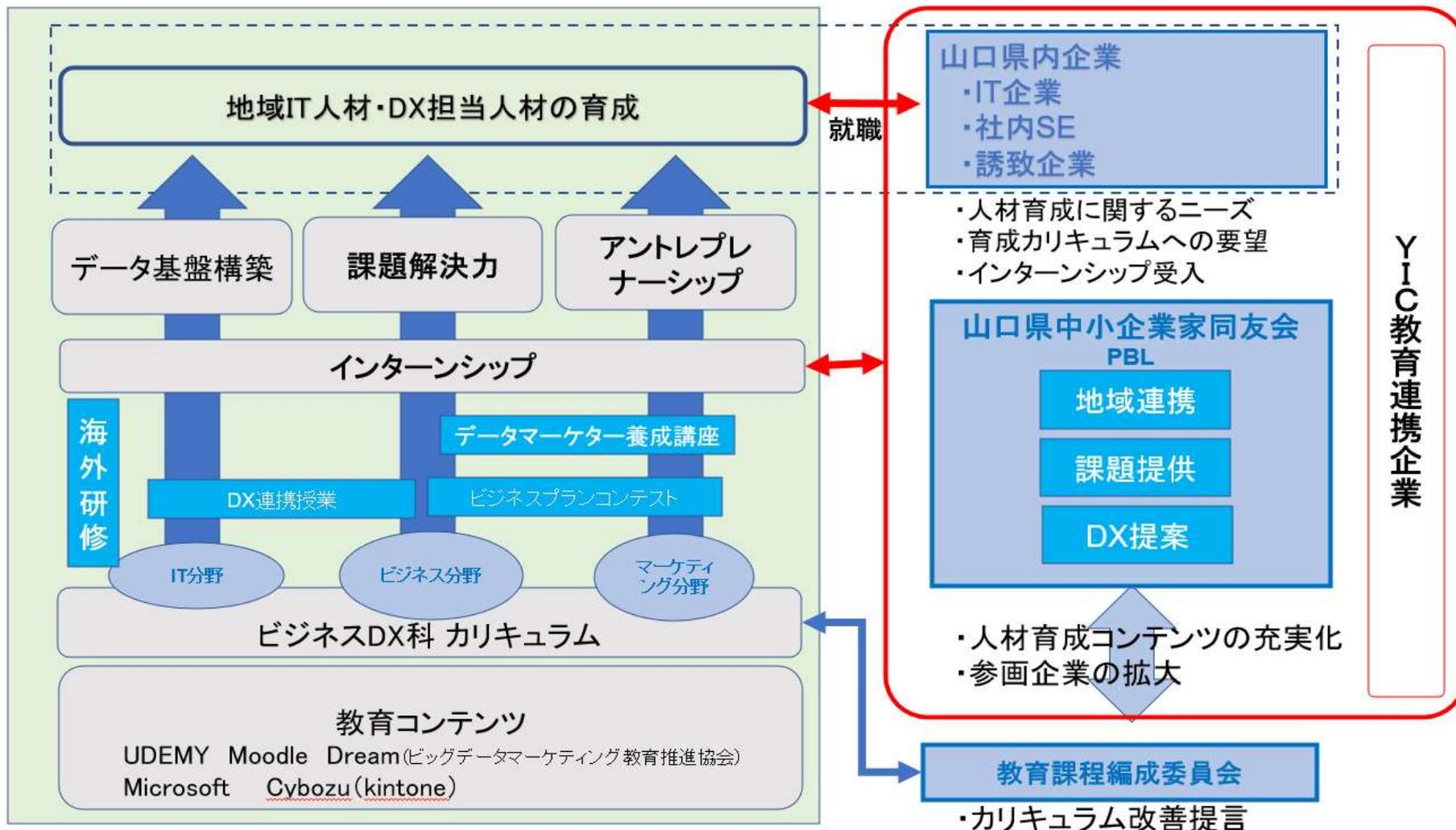
特に「アントレプレナーシップ教育」は学生に起業を推奨するためのものではなく、アントレプレナーシップの要件である

- リスクを恐れず、新しい挑戦を受け入れる
- 創造的な解決策を見出す意欲や能力がある
- 想像力や発想力、行動力がある
- 忍耐力や責任感、柔軟性、広い視野がある
- ポジティブ思考でいられる
- 様々な人材との協調力がある

が本教育の下支えになるだけではなく、企業内のチームとして働く場合でも必要とされる行動力と捉えられているからである。

本報告書ではこの目指すべき「IT人材の育成」のためのカリキュラム案を提示するが

まず、1.本「事業の全体像」を示し、その人材を育成するための2.「キャリアマップ全体像」を示し、続いて各分野「情報・IT」「マーケティング」「ビジネス」のカリキュラム体系を示している。



**人材像**

- ・地域・業界・業種・自社をクロスしたなかで何が問題となり、取り組むべき課題を明確にしてどのように解決するかを設計できる。
- ・上記の検討プロセスにおいてITを活用して思考し、実現手段としてのITを活用できる
- ・ITを活用して業務改善ができる(効率化)
- ・ITを活用して業務遂行ができる(基本的な操作と遂行力)



分野	情報	マーケティング	ビジネス
DP	最新のデジタル技術、AIやノーコードを積極的に活用しスピードをもって職場の構造改革に取り組むことができる。	地域観光資源、地域経済に係る統計データを分析し、データを通して課題の見直しができる思考ができる。	企業や地域における諸課題を自ら積極的に探求し、潜在する課題が新たな地域のビジネスとなるよう果敢に取り組む事ができる。
CP	"業務の基軸となるデータ基盤を構築し、DXを推進するためのノーコードツール、スマホに連携するアプリを作成する。開発を効率化するために、状況に応じた生成AIを活用する。	起業家精神のマインドをみにつけ、データに基づくビジネスアイデアを発想し、学生によるビジネスプランコンテストに応募する。	企業連携授業で企業が実際に抱える課題解決にとりくむため、課題整理業務モデル図の作成をする

**キーワード** IT×経営・ビジネスとの融合      デジタルマーケティング×ITとの融合      起業・イノベーションマインドの育成

**カリキュラムステップ**

ビジネス分野

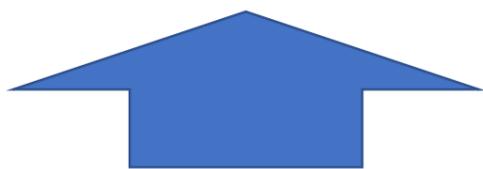
- ① マネジメント力
- ② 分析力
- ③ データ活用能力
- ④ コミュニケーション力
- ⑤ 経営力
- ⑥ デジタルマーケティング力

マーケティング分野

- ① 起業家精神
- ② 統計データ分析
- ③ データ分析力・問題発見力・論理的思考
- ④ プランニング力
- ⑤ デジタルマーケティング力
- ⑥ 地域経済理解
- ⑦ デジタルマーケティング力

情報・IT分野

- ① デジタルリテラシー
- ② データの活用
- ③ データ分析
- ④ データセキュリティ
- ⑤ データサイエンス



**AP**

ビジネスDX科では、「広い視野と柔軟な思考とそれを実践する行動力を持って地域社会の発展に貢献できる人材」となることができる可能性を持った人を受け入れるため、以下の2点を学生受け入れの方針として明示します。

1. 求める学生像

地域社会の発展に興味・関心を持つ人、ビジネス、経営、情報、社会等に関心を持つ人、多様な人々と「協創」して課題を解決しようとする人を広く求めます。

2. 本学の教育を通じて養う能力

本校の教育目標を実現するために必要なビジネス知識とIT技能を習得し、課題発見・課題解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と「協創」して学びあう能力を有するとともに自ら学び続ける能力と、社会・地域に貢献できる能力を備えたものに高度専門士・専門士を授与する。

マネジメント分野

ディプロマポリシー

マネジメント分野育成人材像

知識・技能  
(理解できる)

思考力・判断力・表現力等の能力/協創力  
体現レベル(できる) 実践できる(活かせる)

課題解決型実践学習を通じて、中小企業が抱える課題の抽出、解決案提示、解決に向けた施策を行うための活動を推進する。ビジネス人材として重要なスキルとして潜在ニーズを引き出すための質問力を身につけ、要求事項を明確にして企業の内外の課題に取り組む人材。

地域における諸課題を自ら積極的に探求し、潜在する課題が新たな地域のビジネスとなるよう果敢に取り組む事ができる。

・批判的思考に基づき得た思考で地域社会や企業経営に対する洞察力を養い実践的課題解決ができる。  
・主体性をもってバックグラウンドを持つ人々と協調して共に課題解決に取り組む能力を身につける。  
・論理的かつ効果的なコミュニケーション能力を養い、チーム内外での協力を促進する。

カリキュラムポリシー

企業連携授業で企業が実際に抱える課題解決にとりくむため、課題整理業務モデル図の作成をする

分野	能力項目	主体的積極的思考 (意識・思考)	知識・技能 (理解)	(個人単位) 体現レベル (できる)	実践できる (活かせる)
ビジネス分野	マネジメント力	<p>役割認識</p> <p>原価意識/コスト マインド</p> <p>③ ウェル ビーイング</p> <p>建設的問題意識</p> <p>自己変革マインド</p> <p>コンプライアンス マインド</p> <p>顧客志向</p>	<p>①-1 PDCAサイクル ・マネジメントコントロール (基本知識：個人単位)</p> <p>①-2 プロジェクトマネジメント (基本知識：チーム単位)</p> <p>①-3 計数管理力 (ビジネス会計・財務・コスト意識)</p> <p>①-3-a 商業簿記</p> <p>①-3-b 工業簿記</p> <p>①-3-a 財務分岐</p> <p>①-4 経営学基礎</p> <p>①- ビジネス法務</p> <p>②-1 ビジネスマナー(電話対応・報連相)</p> <p>(対個人) ビジネスコミュニケーション</p> <p>②-2 傾聴力・ヒアリング力・話し方</p> <p>②-5 影響力(リーダーシップ)</p> <p>②-3 プレゼンテーション力</p> <p>②-4 ネゴシエーション力</p>	<p>プロジェクトケースによる マネジメント実践</p> <p>①-3 計数管理実践 (財務分析・原価分析演習)</p>	<p>起業家ワークショップ※</p>

ワークショップや演習を通じてスキルの実践習

※黄色は意識やマインド・思考など分野を問わず共通項として育成もしくは本人が意識できるような機会が必要  
※本人が一番気づきが多い体験や機会には実践やワークショップなどの場面を活用。

マーケティング分野

ディプロマポリシー

マーケティング分野育成人材像	ディプロマポリシー	
	知識・技能 (理解できる)	思考力・判断力・表現力等の能力/協創力 体現レベル(できる) 実践できる(活かせる)
困難な課題に果敢に取り組む姿勢を養い企業における革新者の役割を担い、新たな企業価値を創出する。オープンデータの活用と自社データを統合して分析し、市場ポートフォリオを構築し、マーケティング戦略を立案できる人材。	マーケティングに関する知識・技能を体系的に修得し、実践的なマーケティングを立案・実行する能力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域観光資源、地域経済に係る統計データを分析し、データを通して課題の見直しができる思考ができる。</li> <li>・必要な情報を収集し、事象を構造化し、仮説を立てて検証・分析していくことができる。</li> <li>・議論と対話を軸として相互理解を進めるコミュニケーション力やマネジメント力をもって、チームを動かすことができる。</li> </ul>

カリキュラムポリシー

起業家精神のマインドをみにつけ、データに基づくビジネスアイデアを発想し、学生によるビジネスプランコンテストに応募する

分野 能力項目	主体的積極的思考 (意識・思考)	知識・技能 (理解)	(個人単位) 体現レベル (できる)	実践できる (活かせる)
<b>マーケティング分野</b>  <div style="background-color: #4a90e2; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">①起業家精神</div> <div style="background-color: #9b59b6; color: white; padding: 5px;">②統計データ分析から課題設定(マーケティング・統計分析等)</div>	<div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">チャレンジ精神</div> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">忍耐力</div> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">意思決定力</div> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px;">顧客志向</div>	<div style="background-color: #add8e6; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">①-1 アントレプレナーシップ概論</div> <div style="background-color: #4a90e2; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">①-1 着想・アイデア・チャレンジ精神</div> <div style="background-color: #4a90e2; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">①-2 アイデア企画からビジネスプラン</div> <div style="background-color: #4a90e2; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">①-3 事業展開(資金調達等)</div> <div style="background-color: #9b59b6; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">②-1 マーケティング基本</div> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">データ分析力・問題発見力・論理的思考</div> <div style="background-color: #9b59b6; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">②-2 統計学基本</div> <div style="background-color: #9b59b6; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">②-3 データ分析(調査・分析)</div> <div style="background-color: #9b59b6; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">②-4 マーケットリサーチ</div> <div style="background-color: #9b59b6; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">②-5 ブランドマネジメント</div> <div style="background-color: #9b59b6; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">②-6 デジタルマーケティング(SNS活用等)</div> <div style="background-color: #9b59b6; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">②-7 地域経済学</div> <div style="background-color: #9b59b6; color: white; padding: 5px;">②-8 ビジネス数学</div>	<div style="background-color: #4a90e2; color: white; padding: 5px; text-align: center;">ビジネスアイデアプラン 実践(個人案)</div> <div style="background-color: #9b59b6; color: white; padding: 5px; text-align: center;">(課題解決型演習) ケースによるマーケティング戦略実践</div> <div style="background-color: #9b59b6; color: white; padding: 5px; text-align: center;">(課題解決型演習) 新商品開発事業化ワークショップ</div>	<div style="background-color: #add8e6; color: white; padding: 5px; text-align: center;">(起業家実践演習) 起業家ワークショップ</div>

情報・IT分野

ディプロマポリシー

情報・IT分野育成人材像

知識・技能  
(理解できる)

思考力・判断力・表現力等の能力/協創力  
体現レベル(できる) 実践できる(活かせる)

業務における「ムリ・ムダ・ムラ」を見つけだし、改善をするための最適ツールで社内IT環境を再構築できる。最適化ツール活用を推進できる社内のITリーダーとしてDXによる構造改革を進めることができる人材。

最新のデジタル技術、AIやノーコードを積極的に活用しスピードをもって職場の構造改革に取り組むことができる。

・業務分析による改善業務モデル図を作成し、実現に必要な最新技術情報の収集、構築に必用となる仕様条件を作成することができる。  
・技術的な内容を分かりやすく説明し、他の専門分野の人々と協力して課題解決に取り組む能力を身につける。

カリキュラムポリシー

業務の基軸となるデータ基盤を構築し、DXを推進するためのノーコードツール、スマホに連携するアプリを作成する。開発を効率化するために、状況に応じた生成AIを活用する

分野	能力項目	主体的積極的思考 (意識・思考)	知識・技能 (理解)	(個人単位)体現レベル (できる)	実践できる (活かせる)
情報・IT分野	① PC基本操作スキル (デジタルツール)	目的意識 思考力 整理力	①-1 デジタルシティズンシップ ①-2 データのグラフ化 ①-3 データテーブル作成、抽出	PC関連実技資格取得	企業連携先での ロ花
	② 情報システム開発系スキル	構築力 原因分析力 コミュニケーション	②-1 システム開発 ②-2業務分析 ②-3ヒアリング手法、提案説明方法	業務フロー図作成	
	③ セットワークセキュリティ	倫理観	リスク分析・批判的思考力・倫理観 ③-1 リスアセスメント ③-2セキュリティインシデント ③-3 セキュリティ法規制	情報セキュリティマネジメント資格	
	④ データサイエンス・AI		データ分析力・問題発見力・柔軟性 ④-1 ビッグデータ分析、ビジネス数学 ④-2クロス集計処理、適切なグラフ ④-3 生成AI利活用	市場調査 オープンデータ分析	
					企業連携先企業の 同業市場調査

YIC\_理系転換R6 文科学事業 ビジネスDX科（仮称）カリキュラムマップ

分野	ディプロマポリシー	カリキュラムポリシー	科目系統方向性	1年次								2年次															
				前期				後期				前期				後期											
				IT知識を習得していくにあたり、ベースとなる基礎知識と初級の操作能力をみにつける	履修方法	単位数	時間数	デジタルマーケティング分野を学習し、アントレプレナーシップをもって分析と課題抽出ができる。	履修方法	単位数	時間数	地域経済に係る統計データを分析し、データを通して課題の抽出とDX活用による解決方法を提案する	履修方法	単位数	時間数	山口県中小企業家同友会との企業連携において企業が抱える課題をDXにより解決する	履修方法	単位数	時間数								
情報分野	最新のデジタル技術、AIやノーコードを積極的に活用しスピードをもって職場の構造改革に取り組むことができる	業務の基軸となるデータ基盤を構築し、DXを推進するためのノーコードツール、スマホに連携するアプリを作成する  開発を効率化するために、状況に応じた生成AIを活用する	業務効率化 データ基盤構築 コンテンツ管理 トラブルシュート  学習の効率化	ノーコード実習 I	演習	2	60	ノーコード実習 II	演習	2	60	ノーコード実習 I	演習	2	60	ノーコード実習 II	演習	2	60								
				表計算実習 I	演習	4	120	表計算実習 II	演習	3	90	データベース演習 I	演習	2	60	データベース演習 II	演習	2	60								
								システム演習 I	演習	2	60	システム演習 II	演習	2	60	CMS演習	演習	2	60								
				生成AI活用	演習	2	60									業務自動化演習	演習	3	90								
				デジタルシティズンシップ	演習	1	30																				
				情報処理概論 I	講義	2	60																				
マーケティング分野	地域観光資源、地域経済に係る統計データを分析し、データを通して課題の見直しができる思考ができる	起業家精神のマインドをみにつけ、データに基づくビジネスアイデアを発想し、学生によるビジネスプランコンテストに応募する	起業家精神  統計データ分析					アントレプレナーシップ入門	講義	1	30	アントレプレナーシップ演習※1	演習	2	60												
				マーケティング入門	演習	1	30	デジタルマーケティング演習	演習	2	60	データマーケティング※1	演習	3	90												
								ビジネス数学	演習	1	30	データ分析演習 I	演習	1	30	データ分析演習 II	演習	2	60								
マネジメント分野	企業や地域における諸課題を自ら積極的に探求し、潜在する課題が新たな地域のビジネスとなるよう果敢に取り組む事ができる	企業連携授業で企業が実際に抱える課題解決にとりくむため、課題整理業務モデル図の作成をする	課題解決  プロジェクト管理	ビジネスマナー I	演習	1	30	ビジネスマナー II	演習	1	30																
				ウェルビーイング概論	演習	1	30	地域経済学※1	講義	2	60	PBL入門（業務モデリング）※1	演習	2	60	PBL※1	演習	3	90								
				思考法	講義	1	30					プロジェクトマネジメント	演習	2	60												
				著作権	講義	1	30	インターンシップ	実習	1	30					ビジネス法務	講義	1	30								
				小計	16	480	小計	15	450	小計	16	480	小計	15	450												
				年間 合計				31				930				年間 合計				31				930			
				総単位数・時間数合計																62				1860			

企業連携科目 紫色記載 360  
 実証講座との関連 青字  
 ※1 フィールドワーク含む

・座学に関して、「講義」でなく「演習」中心として、講師のレクチャー、グループワークを授業として展開する  
 ・2026年から始まる単位制を見越して、1年間31単位、2年間62単位にしておいた方がよい

## YIC\_理系転換R6 文科学事業 ビジネスDX科（仮称） 科目概要

学年	学期	科目名	履修方法	単位数	時間数	科目概要	企業と連携した科目	実証講座との関連
1年	前期	ノーコード実習Ⅰ	演習	2	60	業務イメージを理解するためにKintoneを使って業務の流れを学習する。簡単に業務アプリを作成ができる各種ツールの使い方を学習し、各種テンプレートを活用しノーコードでの開発を組み立てることができる		
1年	前期	表計算実習Ⅰ	演習	4	120	表計算ソフトの基本操作、関数、データベース、抽出、グラフ作成を学び基本的な操作を習得した後は複数の関数を組み合わせた応用技術を習得して実務に役立つ能力を身につける。		
1年	前期	生成AI活用	演習	2	60	生成AIを有効に学習等に活用するために、AIの種類ごとによる特性を理解し、生成したコンテンツや文書を倫理観をもって取り扱い、生成データの真偽について判断し、コンテンツを正しく取扱うことができる。		
1年	前期	デジタルシティズンシップ	演習	1	30	サイバーリスクを回避し、デジタル社会において安全かつ有益な活動を行うために、情報リテラシー、コミュニケーションリテラシー、セキュリティリテラシー、倫理観、社会参加について学習する。		
1年	前期	情報処理概論Ⅰ	講義	2	60	情報社会の基礎知識を習得し、ネットワークやセキュリティ等の基本概念を学ぶ。IT人材として求められる広範なIT知識を身につけることを目的とする。サーティファイの情報処理技術者能力認定試験の合格を目指し、実践的な知識の習得を図る。		
1年	前期	マーケティング入門	演習	1	30	ビジネスの現場で役立つマーケティングの基礎知識を習得する。市場調査、顧客分析、競合分析の手法を学習し、マーケティング戦略の立案・実行・評価を行い、Web、SNS、広告などを効果的に活用できる方法を学習する。		R7年度地域産業研究
1年	前期	著作権	演習	1	30	著作権に関する知識、著作権法の条文や判例について学習する。事例を通して著作権の問題点について考え、著作権に関する訴訟事例や契約事例についてディスカッションし、実務で著作権侵害のリスクを回避できるようになる。		
1年	前期	思考法	演習	1	30	論理的に思考し、物事を体系化し整理することで、論理的に説明ができコミュニケーション力の向上につながる。批判的思考として現状に対して疑問や課題意識をそれを裏付ける情報の収集と分析を行い客観的に判断できるようになるための思考を身につける。		
1年	前期	ビジネスマナーⅠ	演習	1	30	接遇マナーとして言葉遣い、身だしなみ、態度、敬語の使い方、電話応対、冠婚葬祭マナーなど、社会人として必要なマナーを幅広く学ぶ。ロールプレイングを通して実践的なスキルを身につける。		
1年	前期	ウェルビーイング概論	演習	1	30	ウェルビーイングとは身体的、精神的、社会的に良好な状態を表し、様々な要素で構成されている。デジタル化に伴う人材がデジタルデバイスの過度な利用により、心身の健康に与える影響を考慮するデジタルウェルビーイング等、公私充実した生活を送るうえで欠かせない概念を学習する。		
1年	後期	ノーコード実習Ⅱ	演習	2	60	Kintoneの基本操作を習得前提で、業務に関するフローや使用される帳票類を分析し、Kintoneでの画面設計や、承認プロセスの設計をアプリ構築を進めながら並行して進める。主として学生に身近な学校業務プロセスをKintoneを使って構築していく。		
1年	後期	表計算実習Ⅱ	演習	3	90	表計算実習Ⅰで基本的な操作習得を前提として、PowerQueryの基本的操作方法を学習する。データソースからデータを収集、変換、結合し、分析に適した形に整形するスキルを習得し、分析に適したデータ整形を行いレポート化する		
1年	後期	システム演習Ⅰ	演習	2	60	WindowsOSの基本構造や管理方法を学び、企業のIT環境で求められる運用スキルを習得する。ユーザー管理、ネットワーク設定、セキュリティ対策、PowerShellによる自動化などを実機演習を通じて実践し、IT人材としての基礎を身につける。		
1年	後期	アントレプレナーシップ入門	講義	1	30	起業家精神に関する基礎知識を幅広く学習し、ビジネスを始めるための基礎知識や、アイデアの見つけ方、ビジネスプランの考案を学習し、アントレプレナーシップ演習で行うビジネスアイデアコンテスト応募につなげる		
1年	後期	デジタルマーケティング演習	演習	2	60	デジタルマーケティングの基本概念を理解し、活用方法を学ぶことで、効果的なマーケティング戦略を立案・実行できる能力を養う。また、データ分析やソーシャルメディアの活用、広告運用の最適化など、実際のビジネスシナリオで即戦力となるスキルを身につけることを目指す。	○	
1年	後期	ビジネス数学	演習	1	30	ビジネスの現場で直面する問題を数学的に解決する力を養う。基礎数学、統計学、金融数学、最適化技術を学び、データ分析や資金計画、効率的な資源活用を通じて、実践的なビジネススキルを身につける。		
1年	後期	ビジネスマナーⅡ	演習	1	30	採用面接の流れを把握し、対応の言葉を考え、就職面接に活かせるようにする。また、就職活動に必要な電話応対ができるよう、場面に応じたロールプレイングに取り組ませる。さらにメールや文書のマナーを学び、好ましい文書の通信ができるようになる。		
1年	後期	地域経済学	講義	2	60	地域経済の基本概念や理論、政策、実践的な分析方法を学び、地域の持続可能な発展に貢献するための知識とスキルを身につける。さらに、地域間格差やグローバル化の影響を考察し、地域経済の未来を見据えた視点を養う。	○	R7年度PBL入門
1年	後期	インターンシップ	実習	1	30	営業、事務、技術など幅広い業務で企業活動を体験する。社員や経営者とコミュニケーションを通じ仕事の流れを理解し、ビジネスマナーを実践する。就職先の選択として目指す業界や企業の理念などを意識してとりくむ。		

## YIC\_理系転換R6 文科学事業 ビジネスDX科（仮称） 科目概要

学年	学期	科目名	履修方法	単位数	時間数	科目概要	企業と連携した科目	実証講座との関連
2年	前期	ローコード実習Ⅰ	演習	2	60	クラウド上でのWebアプリケーションやモバイルアプリ開発にローコードでの開発が出来るようにするために、ローコードツールの使い方を学習し、プログラミングなしで、課題解決が短期でできるスキルをみにつける。		
2年	前期	データベース演習Ⅰ	演習	2	60	NoSQLデータベースを中心に、データベースの基礎を学ぶ。データの構造や保存方法を理解し、フロントエンドアプリ開発やデータ分析に活かせる知識を習得する。後続のデータベース演習Ⅱで扱うSQLデータベースとの違いを学ぶための土台を築く。		
2年	前期	システム演習Ⅱ	演習	2	60	企業のITインフラを安全に運用するために、ネットワークの基礎とセキュリティ対策を学ぶ。IPアドレス管理、VPN、ファイアウォール、無線LAN設定などの実践的なネットワーク管理に加え、脆弱性対策やログ監視を通じてセキュリティの重要性を理解する。		
2年	前期	プロジェクトマネジメント	演習	2	60	プロジェクトを成功させるためプロジェクトマネジメントの知識を習得し、プロジェクト管理で使用するツールであるガントチャート、WBS、リスク管理マトリクス、課題管理表を活用しプロジェクトを遂行することができる。		
2年	前期	アントレプレナーシップ演習	演習	2	60	アントレプレナーシップを醸成するとともに、ビジネスアイデアコンテストにむけた地域課題に対して、アイデアを具体的な形にしていく。またビジネスモデルの構築としてターゲット、実現性、収益性を考慮した提案ができる企画書を作成して応募する	○	
2年	前期	データマーケティング	演習	3	90	マーケティングの基本とデータ分析技法について学習する。地域経済分析システム「RESAS」の活用と地域の小売り店舗でのフィールドワークでの実例分析をおこなう。	○	
2年	前期	データ分析演習Ⅰ	演習	2	60	基本的なスキルと知識を習得し、実践的な演習やプロジェクトを通じて、データの収集、前処理、統計的手法、データの可視化、機械学習の基礎など、データから有益な情報を引き出し、実際の問題解決に応用する力、意思決定に役立てる力を養う。		
2年	前期	PBL入門（業務モデリング）	演習	2	60	企業の業務プロセスや構造を可視化し、分析・改善するための手法で、業務の流れや関係性を図やモデルで表現し現状課題を発見し最適化を考案する。グループワークやケーススタディを通して、実践的な業務フローを作成する。		
2年	後期	ローコード実習Ⅱ	演習	2	60	ローコードツール基礎の習得を前提に、Webアプリケーションやモバイルアプリの実装にむけて、ローコードツールで開発し、テストやバグの確認の工程を進めアプリの公開にむけた実装ができるレベルを目指す。		
2年	後期	データベース演習Ⅱ	演習	2	60	MySQLやPostgreSQLを用いたSQLデータベースの構築・運用を学ぶ。SQLの基礎を理解し、実践的なデータベース操作を習得する。NoSQLデータベースとの違いを理解し、データ分析（Python）や業務自動化演習でのデータ活用を見据えたスキルを身につける。		
2年	後期	CMS演習	演習	2	60	WordPressを使ったWebサイトの制作をおこなう。基礎知識としてローカル環境（Local）に構築し、テーマ・プラグインの使い方、投稿・固定ページの管理を学習し、CMSのコンテンツ管理の概念について理解していく。		
2年	後期	業務自動化演習	演習	3	90	Pythonを活用し、事務作業を自動化・効率化する手法を学ぶ。特定の業務に特化せず、幅広い自動化の手法を経験し、Pythonを用いた業務改善の可能性を理解する。企業の現場で活用できるスキルを習得し、実際の業務課題を解決できる力を養う。		
2年	後期	P B L	演習	3	90	山口県中小企業家同友会との連携授業を行う。同友会会員企業から、経営上の課題や課題解決へのニーズを共有いただき、学生がデジタル技術を活用した解決策を検討し、企業と協力しながらアイデアの実現可能性や効果を検証する。	○	R8年度PBL（オーダーメイド型PBL,DX企業課題解決）
2年	後期	ビジネス法務	講義	1	30	初歩的な法律概念の理解からITビジネスにおいて必須となる知的財産に関する法的知識・思考力や情報法・消費者関係法の基礎的な知識習得および債権回収や倒産への対応、労働法、契約、コンプライアンスなど、企業における実務的な知識等に係る理解を深めていく。		